

持続可能な農業の確立に関する提言書

本市の農業の実態は、農業従事者の高齢化と後継者不足に加え、鳥獣被害や農産物価格の低迷により耕作放棄地も増え、非常に厳しい状況にある。農業が次代へ引き継がれるよう経営の安定化や担い手の育成を図るために、以下の提言を行うものである。

なお、本提言に対する取り組みについては、適宜、議会に報告を行うよう求める。

1. 農産物の地産地消の推進のための、観光業と農業を結びつける施策を強化するとともに、付加価値の高い宮津ブランド（ストーリー性を持った宮津のギフトセットなど）の開発と、都市部等への販路拡大の仕組づくりに努めること。
2. 新規就農希望者が就農に結びつくよう滞在型農業体験や研修を充実させること。また、新規就農者には、資金助成及び農地の仲介、栽培技術の相談など、個々の状況に応じた伴走支援の強化を図ること。
3. 補助要件を充足しない小規模農家が多い宮津市において、農業者のニーズ調査を行い、現場の条件に合った補助制度の導入を検討すること。

令和6年6月25日

宮津市長 城 崎 雅 文 様

宮津市議会議長 長 本 義 浩